

議員定数に関する市民と議会の意見交換会記録

Cグループ	NPO法人留萌体育協会 専務理事 伊端隆康（リーダー） 新星マリン漁業協同組合 総務指導課長 讃岐政彦 留萌地区退職者連合 会長 臼窪 稔 留萌市社会福祉協議会 事務局長 大澤貞閑 国際ソロプチミスト留萌 セクレタリー 松下悦子 女性ネットワーク・るる 理事 越前初恵 NPO法人留萌観光協会 常務理事 海東剛哲
担当議員	司会 燕 昌 克 議員 記録 土 田 悦 也 議員 珍 田 亮 子 議員

① 議会活動について

- ・ 議会議論において対案・提案が低調である。
- ・ 常任委員会が6人だと議論が深化しないのでは。
- ・ 議会だよりは熟読していないが情報が素通りしているのでは。
- ・ 情報を受ける側の市民の努力も必要では。
- ・ 議会一般質問が一方通行になっているようで議論になっていない。
- ・ 傍聴、議会だより、新聞などで議会活動はある程度、分かるがもっと「情報発信」をして欲しい。
- ・ 普段あまり気にしていない。
- ・ 地元新聞を読んでも「質問成果」が分からない。
- ・ マスコミももっと批評してもいいのでは。
- ・ 身近に感じない。
- ・ セレモニー化しているのでは。

③ 議員定数について

- ・ 定数の決め方の根拠が分からない。
- ・ 現状でより活発になれば良い。
- ・ いい仕事をするには定数を増やし報酬もアップするのがいいのでは。
- ・ 定数は財政によるところが大きいがこれ以上報酬を下げるのは難しいのでは。
- ・ 定数は議員の意向によるところが大きい。
- ・ 現状、何をやっているのか分からないが大変そうな気がする。
- ・ 議員の意向が分からない。
- ・ 仕事の量、内容をもっと発信しては。

- ・ 議員が働きながら食えることが必要。
- ・ 当選ラインを上げるのは議員のなりてが減るのでは。
- ・ 定数減は市民の声が反映されないのでは。

○ まとめ

(班として意向をはかってみると7人中)

定数減 0名、現状 5名、増1名、分からない1名